

(4面から続く)

きる状況にあるのかも、疑問があります。マスク着用について、どのように指導しているのか伺います。また、子どもたちの中にはマスク着用が負担になっている子もいます。アトピー性皮膚炎などの皮膚の病気や発達障がいなどの理由でマスク着用が難しい子どもがいることを理解した上で対応策を早急に検討すべきと考えますが、見解を伺います。

十分な距離を確保できるときや熱中症のおそれがあるときは、マスクの必要がないことを指導しています。熱中症のリスクが高い日にはマスクを外すように声かけをしています。マスク着用が難しい児童・生徒は、それぞれ状況が異なるため、状況に応じて適切な対応をしています。そのような児童・生徒がいることを児童・生徒や教職員へ周知することも、周りの理解を得る上で有効な対応策であると考えられています。



須崎 友康 議員 《会派に属さない議員》

### 新型コロナウイルスワクチンのリスクについて

ワクチン接種券に同封されている「新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ」には、接種のリスクである副反応について記載されています。しかし、アナフィラキシーのみの記載では副反応は具合が悪くなる程度だと認識してしまいがちです。それ以上に重要なのが人体に初めて使用される遺伝子ワクチンであり、長期的な影響が何も分からないところなのです。ワクチンの接種後に亡くなった方の事例件数をお示しください。

【再質問】 これまでに基礎疾患のない26歳の女性がワクチン接種の4日後に死亡し、持病は偏頭痛のみであった26歳の男性も、ワクチン接種の5日後に死亡しています。その他の事例でも、若者層がワクチン接種後に数日で亡くなっている事実があります。市民の心身の健康を望むのであれば、ワクチン接種によるリスクや健康被害についても広報すべきであると思いますが、見解を伺います。

健康部長 令和3年5月26日時点の厚生労働省の発表は85件です。ただし、接種が直接の原因であるかは明確にはお示しください。

健康部長 市民が選択できるように国、県の指示に従い、副反応の例などの周知に努めていきたいと考えています。



高波 貴志 議員 《自民党・いさま》

### 新型コロナウイルスワクチン接種予約時の混乱を問う

令和3年5月10日に開始された新型コロナウイルスワクチン接種予約に関して、議員各位にも多くのご意見や不満

の声が寄せられていると思います。また、当然市長にも同様の声が届いているのではないかと思います。今回の事態

を招いてしまったのは明らかに事前の計画不足が大きな原因であると考えますが、市長はどのように感じているのか伺います。

市長 ワクチン接種事業の計画当初は、接種を希望する高齢者の割合を6割と想定しました。これは高齢者のインフルエンザワクチンの接種率から想定したもので、この時点で問題があったとは考えていません。本市の接種予約開始前に他の自治体における予約受付の混乱が連日報道されていたことや集団接種に必要なワクチン供給のめどが立たなかったことから、当初は接種日の30日前からの予約としていたところを、予定していた7月



熊切 和人 議員 《自民党・いさま》

### 座間駅前再整備、活性化について

座間駅前の再整備、活性化については、議員になった当初から訴えており、まだ第一段階と捉えています。座間駅東口の駅前再整備については、予定されている全ての工事が令和3年11月に完成します。そのような状況で、駅前のさらなる活性化を目指し、座間駅前周辺連絡協議会の立ち上げに向けて、前段階となる(仮称)ZACを発足しました。小田急電鉄の担当者を含めた十数名で、月に一度は駅前活性化に向けた会議を開き、駅前再整備工事の完成と本市の市制施行50周年に併せて、イベントを開催する予定になっています。完成イベントの大成に向けて、さらなるバックアップ体制を求めるところですが、市長の見解を伺います。

市長 市制施行50周年記念式典の時期に合わせた座間駅前リニューアルセレモニーの開催等は、一層の地元愛の醸成につながることであり、期待を寄せています。コロナ禍で大変厳しい状況ですが、このたびの座間駅前周辺地域の取組を含め、市民、企業、団体等が連携して地域を盛り上げ、活性化を図る取組に対し、できる限りバックアップをしていきたいと考えています。



31日までの全ての枠を予約できるようにしました。予約の電話がつかないという状況はありましたが、結果として他の自治体で報道されているような混乱はなく、また、予約日を開放するたびに少ない予約枠を取り合うという事態は避けられたと考えています。



相模川と鳩川の洪水浸水対策について

### 相模川と鳩川の洪水浸水対策について

相模川や鳩川が氾濫した際に、浸水する可能性がある新田宿、四ツ谷、座間1丁目の一部には、最大3・0メートルと表記された洪水想定浸水深の標示板が設置されています。3メートルの洪水が襲ってきた場合、洪水浸水想定区域外となっているJR相模線の東側にある座間小学校、市民館、入谷小学校、座間高等学校への避難が想定されませんが、新型コロナウイルスの感染拡大も踏まえ、新田宿と四ツ谷に住む約5500名と座間1丁目の住民が安心・安全に避難場所を利用できるのか伺います。併せて、住民の避難誘導について伺います。

市長室長 令和元年台風19号の際には洪水浸水想定区域外の13カ所を指定緊急避難場所として開設しました。新型コロナウイルス感染症を踏まえた洪水時の避難は、避難所での3密を避けるため、安全な区域にお住まいの親戚や知人宅へ避難する分散避難を促すとともに、車による避難や体育館と校舎を併用した避難方法を想定しています。避難誘導については、市ホームページやいさまメールを活用する一方で、高齢者への配慮として、防災行政無線、車載スピーカー付の公用車で自宅にとどまる方の避難誘導をしていきたいと考えています。



伊藤 多華 議員 《座間市公明党》

### 生理用品の配備について伺う

コロナ禍で生活が困窮し、生理用品が買えなくなり、日常生活に支障が出ている人がいます。防災用に備蓄している生理用品を小・中学校のトイレに配備している自治体が拡大していますが、本市においても小・中学校のトイレに配備することへの見解を伺います。また、生活困窮の相談窓口でもある生活支援課自立サポート担当や社会福祉協議会、NPO法人ワンエイドで、生理用品を配布することについて見解を伺います。加えて、生理の貧困とその対策の必要性について、市長のご所見を伺います。

市長 コロナ禍における経済状況の変化によって、生理用品も買えないほど困窮している人たちがいるということが顕在化し、問題視されてきました。経済的理由以外にも様々な要因があり、単純に貧困という言葉だけでは片づけられない問題が潜んでいると捉えています。対策として生理用品などの提供に限らず、生理に対する理解の促進につながる取組が必要だと考えます。生理用品の配布については、防災用備蓄用品を計画的に更新し、使用が可能と判断できるものについては、必要とされる箇所に配備をするなど、検討していきたいと考えています。

**会議録をご覧ください**

座間市議会だよりでは、各議員の文責により質疑・質問・答弁・討論の発言の一部を抜粋して掲載しています。詳細は会議録をご覧ください。  
パソコンやスマートフォンから市議会のホームページをご覧ください。  
また、市役所1階の市民情報コーナー、図書館でもご覧いただけます。  
なお、6月定例会の会議録は8月下旬ごろから閲覧できます。

- 5 広域大和斎場組合議会 第1回臨時会
- 6 企画総務常任委員会要請行動：防衛省南関東防衛局
- 13 県央八市議会議長連絡協議会定例会(書)
- 15 議会だより編集委員会・議会ICT推進検討委員会

※(書)は、書面会議による